風だより （2026年2月）

社会福祉法人 将友会
風の丘・上大岡東保育園
TEL 045-846-3938
FAX 045-846-3992

寒さの中にもぬくもりを感じる月

１月は「お正月ウィーク」から始まり、獅子舞の登場に思わず涙する子、ちょっと怖がりながらも「頭かんで～！」と自ら近づいていく子など、反応はさまざま。それぞれにとって新年らしい心に残る経験になったのではないでしょうか。月の中頃からはぐっと冷え込み、朝夕の登降園の時間帯は特に大変だったことと思います。そんな冬の空気をものともせず、園庭では子どもたちが毎日元気いっぱいに走り回り、日々の遊びに夢中になっています。子どもの達のエネルギーには本当に驚かされますね。

先日行われた「お楽しみ会」では、たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。各クラスでは、日々の生活の中で経験したことや体験したこと、子どもたちが関心をもっていることや遊びをもとに、少しずつ内容を形にしていきました。サークルタイムでの話し合いや準備の過程も含めて、子どもたちの表現や想いが詰まったあたたかな時間となったことと思います。

２月にはクラス懇談会を予定しています。１年間の取り組みや子どもたちの成長の姿を振り返りながら、参加された保護者の皆さま同士でも少し交流の時間をもっていただければと考えています。年度の締めくくりに向けての準備が少しずつ始まるこの時期。まだ寒さが続きますが、どうぞ体調に気をつけてお過ごしください。
（園長　前田一徳）

２月の予定

２月３日(火) ：節分
２月３日(火) ：きりん組懇談会（※2Fで開催）
２月５日(木) ：ぱんだ組懇談会（※2Fで開催）
２月１２日(木) ：こあら組懇談会（※2Fで開催）
２月１３日(金) ：避難訓練
２月１７日(火) ：うさぎ組懇談会（※2Fで開催）
２月１９日(木) ：りす組懇談会（※2Fで開催）
２月２０日(金) ：5歳児交流会（きりん組）
２月２４日(火) ：防犯訓練
２月２８日(土) ：新入園時説明会（※親入園児のみ）

※ クラス懇談会への出欠はコドモンでご回答をお願いします。

おなかがすくと力が出ない、、、

朝ごはんを食べていなかったり、お菓子やジュースを朝ご飯代わりにしていないでしょうか？すぐにお腹がすいたり、疲れが出て集中力が低下したりします。体が必要とするエネルギーが不足すると、脳が「疲れ」を感じさせ、体の動きを抑制します。元気に過ごすには、毎食バランスよく食べることが一番です。

節分

「おにはそと、ふくはうち」元気な声が園庭を駆け抜けていきます。節分は季節の変わり目で節分の翌日「立春」からは、季節は春になります。節分の日は、悪いものや災いを鬼に例えて追い払い、年の数だけ豆を食べて、１年間元気に過ごせるようにします。お家でも豆まきをして、楽しんでみてください。子どもたちの節分の制作も楽しみにしてくださいね。

流行性おう吐下痢症に注意

流行性おう吐下痢症（ウイルス性胃腸炎）とは、ウイルスが原因で、突然のおう吐・腹痛・下痢（白っぽい便が多い）を主症状とする感染症で、乳幼児では重症化しやすい「おなかのかぜ」のことです。
主にノロウイルス、ロタウイルスなどが原因で、冬から春にかけて流行し、手洗いや吐物・便の適切な処理で感染拡大を防ぐことが重要となります。また、水分補給が重要となり、イオン飲料や湯冷ましなどを少しづつ摂取し、脱水を防ぐようにしてください。

クラスだより（2026年2月）

秋に植えた二十日大根は2回種蒔きができ、小さいながらも大根の味わいがおいしかったです。ブロッコリーは無事年を越し1月に収穫しました。毎日少しずつ大きくなる様子を見守り、アオムシを見つけた時には「ちょうちょになるね！」と絵本を思い出して喜んでいました。0歳児は年明けより離乳食を卒業し幼児食に移行しました。食べられる食材が増え食具の使い方も上手になり、1歳児と同じメニューを意欲的に食べています。1歳児はうさぎ組と同じワンプレートの食器に変わり、進級に向け準備が始まっています。食事をおいしく楽しく食べられるように声掛けをしています。

給食やおやつの時間の前になると「きょうはなに？」とメニューを気にしたり、お皿に盛りつけていると覗きにきて、「おいしそう」「はやくたべたい」というかわいい言葉が聞こえてきます。苦手なメニューだと手が止まったり、「これいらない」と言ってくることもありますが、「ちいさくしてたべてみる？」や「〇〇ちゃんおいしいって」とお友だちが食べている姿を伝えることで少し頑張ってみようという気持ちになることもあります。「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶は進んでできる子も増えています。正しい姿勢やお皿をおさえて食べるなど食事のマナーも伝えながら、友だちや保育者と楽しい雰囲気の中、食事をしています。

秋の栽培物で育てたブロッコリーとジャガイモを1月に収穫し給食で食べました。昨秋は涼しくなるのが早かったためか、生育が遅く収穫までに日数がかかりましたが、採りたてで甘みがあったことと自分で育てたことと相まって、美味しそうに食べていたように感じます。ジャガイモは幼児3クラス共に大きなサイズの物が採れたので、子どもたちの大好きなフライドポテトにしてもらいました。こあら組の栽培物は花壇に植えているチューリップで最後となります。まだまだ気温が低いですが、芽が出てくるのを楽しみに水まきを続けています。

秋に植えた、ブロッコリーやじゃがいも、白菜が良く育ち、子どもたちと一緒に食べることができました。子どもたちは野菜の様子をよく見ていて、ブロッコリーの赤ちゃんを見つけると「かわいいね、もっと大きくなるかな？」と成長を待ち望んでいる様子が見られていました。子どもたちにとって野菜の成長は非常に楽しみだったようです。大きく育った野菜たちを食べることで、食育につながったのではないかと思います。そして、「いただいきます」や「ごちそうさまでした」という挨拶の大切さを肌で感じ、感謝をこめて食事に向き合ってもらえればと思います。

秋、冬の栽培は、「ジャガイモ」「人参」「かぶ」「ほうれん草」を行いました。おやつのフライドポテトが大好きなきりん組は、ジャガイモ栽培に興味津々。早く収穫したいとプランターの様子を気にしていました。サツマイモがあまり数取れなかったので収穫量を心配しましたが、いざ収穫してみると沢山掘り出せ皆で喜びました。当番活動の一つに水撒きがあります。自発的に土が乾いたら水をあげる習慣も身につきました。自分の役割を把握し、状況を確認して実行に移す姿が見られ成長を感じました。他の野菜は、種植えから始まりました。ほうれん草は2回食べる事が出来て大満足でした。